


## ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI プログラム概要

課題番号	19HT0024	分野	社会, 工学	キーワード	ロボットプログラミング
研究機関名	山形大学				
プログラム名	ロボット・プログラミングを通して未来の街(スマートシティー)を考えよう				
先生(代表者)	加納寛子(かのうひろこ)・学士課程基盤教育機構・准教授				
自己紹介	大学では数学のトポロジー分野を学びました。大学院の修士課程の頃には心理学を学び心理検査士の資格も持っています。大学院の博士課程では情報通信に関する研究を行い、ICT 活用やネットいじめなど情報と人に関する様々な問題を解決する研究を行いました。最近では、人工知能が搭載されたロボットと人との関係について取り組んでいます。				
開催日時・募集対象	2019年8月17日(土)	受講対象者	小学校5・6年生	募集人数	30名
集合場所・時間	山形大学小白川キャンパス基盤教育1号館・多目的室	(集合時間)	10:30		
開催会場	山形大学 小白川キャンパス 基盤教育1号館 講義室・多目的室, 体育館 住所: 〒990-8560 山形県山形市小白川町1-4-12(小白川キャンパス) アクセスマップ: <a href="http://www.yamagata-u.ac.jp/jp/access/#koji">http://www.yamagata-u.ac.jp/jp/access/#koji</a>				
内 容					
<p>○プログラムの背景・目的</p> <p>AI(人工知能)が搭載されたロボットと人が共生する時代は間近に迫っています。皆さんが大人になったときには、これまで人が行ってきた仕事の多くをロボットが担う時代になっているでしょう。しかし、案外置き換わらない仕事もあります。それはなぜなのか。言葉で説明をするよりも、実際にプログラミングにより、ロボットやドローンの操作を通して、体験的にロボットが得意なことと苦手な部分を知り、未来の街を構想します。この活動を通し、これから自分が学ばなければいけないことは何なのか、情報学や人工知能を含む新しい学問への意欲関心を育むことを目的としています。</p> <p>○講義(講義室):</p> <p>近い将来、司令塔の役割をするトップの人間、その下に中間管理職の役割を果たすAI、AIと共存して働く人間、AIの指示の下で働く人間という四層構造になるだろう。そのようなAI時代に、AIと共存して働くために必要な教養とは何かについてお話しします。</p> <p>○実験・実習:(多目的室)</p> <p>スマートシティーに使うロボットやドローンの実演とプログラミングアプリの説明を行います。また、スマートシティーの作成とロボットやドローン进行操作した後に、各自が思い描いた理想の街についての作文にまとめます。</p> <p>(体育館)スマートシティーを構想し、ロボットやドローンをプログラミングにより操作します。</p>					

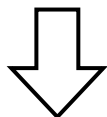
スケジュール	持ち物
10:00～10:30 受付(集合場所:基盤教育1号館前)	筆記用具 タブレットやスマートフォン(任意) 体育館シューズ(任意)
10:30～11:15 科研費の説明, 講義「AI時代に必要な教養とは」 (終了後15分休憩と多目的室へ移動)	
11:30～12:15 スマートシティーに使うロボットやドローンの実演とプログラミングアプリの説明	特記事項
12:15～13:30 昼食・実施担当者と参加者の交流会 (終了後, 体育館へ移動)	
13:30～14:15 ヒューマノイドロボットやドローンが飛び交う街を想像し, スマートシティーを作成 (終了後15分休憩)	
15:00～15:45 ロボットやドローンをプログラミングし, スマートシティー内を動かして, 理想の街を想像する (終了後15分休憩と多目的室へ移動)	
16:00～16:15 各自が思い描いた理想の街についての作文	
16:15～16:30 受講生 : アンケート記入	
16:30～16:40 修了式(未来博士号授与)	
16:40 終了・解散	

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名 :	小白川キャンパス事務部総務課・遠藤文武(えんどうふみたけ)
住 所 :	山形市小白川町一丁目4番12号
TEL 番号 :	023-628-4702
FAX 番号 :	023-628-4889
E - m a i l :	Kj-kenkyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
申込締切日 :	2019年8月2日(金)
※当プログラムは先着順にて受付を行います。	

《プログラムと関係する先生(実施代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
加納 寛子	H25-27	基盤研究(B)	25282031	国際比較に基づいた情報リテラシーに関するオントロジーの構築と目標の分類
加納 寛子	H23-25	若手研究(B)	22700784	携帯端末を用いた情報モラル教育システムの構築
加納 寛子	H21-23	若手研究(B)	19700613	高等教育における情報リテラシー格差是正に資する研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。